
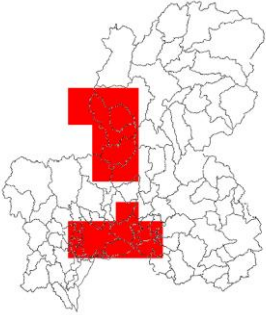


ミズトラノオ	<i>Pogostemon yatabeanus</i> (Makino) Press	絶滅危惧Ⅰ類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		シソ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。また、大部分の個体群がその再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	写真(箕浦博之) 
形態の特徴	多年草。横に這う地下茎があり、茎はそれから立ち上がって高さ30-50cmになり、ほとんど分枝しない。茎は柔らかい。葉は線形～広線形で、3-4枚ずつ輪生する。花期は8-10月。茎頂に、長さ2-8cmの花穂を1個立て、淡紅色の小花を多数密につける。	
生態的特徴	低湿地に生える。	
分布状況	本州～九州、朝鮮に分布する。県内では県南の南部と県北の南西部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県南および県北の狭い地域に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できないことのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良